

京都大学図書館機構における グリーンOA推進の取り組み

2019年度オープンアクセスリポジトリ推進協会 総会 事例報告

京都大学附属図書館 学術支援課学術支援掛
藤原 由華

京都大学



目次

1. 京都大学学術情報リポジトリKURENAIの紹介
2. グリーンOA推進の取組
 - 2-1. 京都大学オープンアクセス方針
 - 2-2. OA方針説明会の開催
 - 2-3. リポジトリ登録システム
 - 2-4. 教育研究活動データベースとの連携
 - 2-5. 評価指標促進経費
 - 2-6. 登録数と申請数の推移
3. 課題

1. 京都大学学術情報リポジトリ KURENAIの紹介

- 公開：2006年10月
- システム：DSpace 5.6.0
- コンテンツ数(本文あり)：186,863件（2020年2月末）
- 機関リポジトリ世界ランキング4位（2020年2月最新版）
- 担当：専門職員 1, 掛員 1,
非常勤 1, 派遣 1
(専任 FTE3)

<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/>



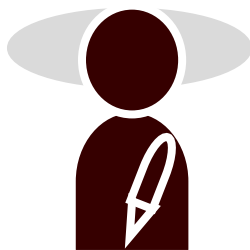
2-1. 京都大学オープンアクセス方針

- 2015年4月28日採択
(役員会承認)

<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/13092>

島文子. E1686-京都大学オープンアクセス方針採択の経緯.
カレントアウェアネス-E. No.284, 2015-07-09. <https://current.ndl.go.jp/e1686>

本学に在籍する
教員は



- 常勤の
- 教授
 - 准教授
 - 講師
 - 助教(有期/無期間わす)

研究成果を



- 学術雑誌に
掲載された論文
- 2015年4月28日
以降に出版されたもの
(それ以前のは登録任意)

KURENAIに
登録する



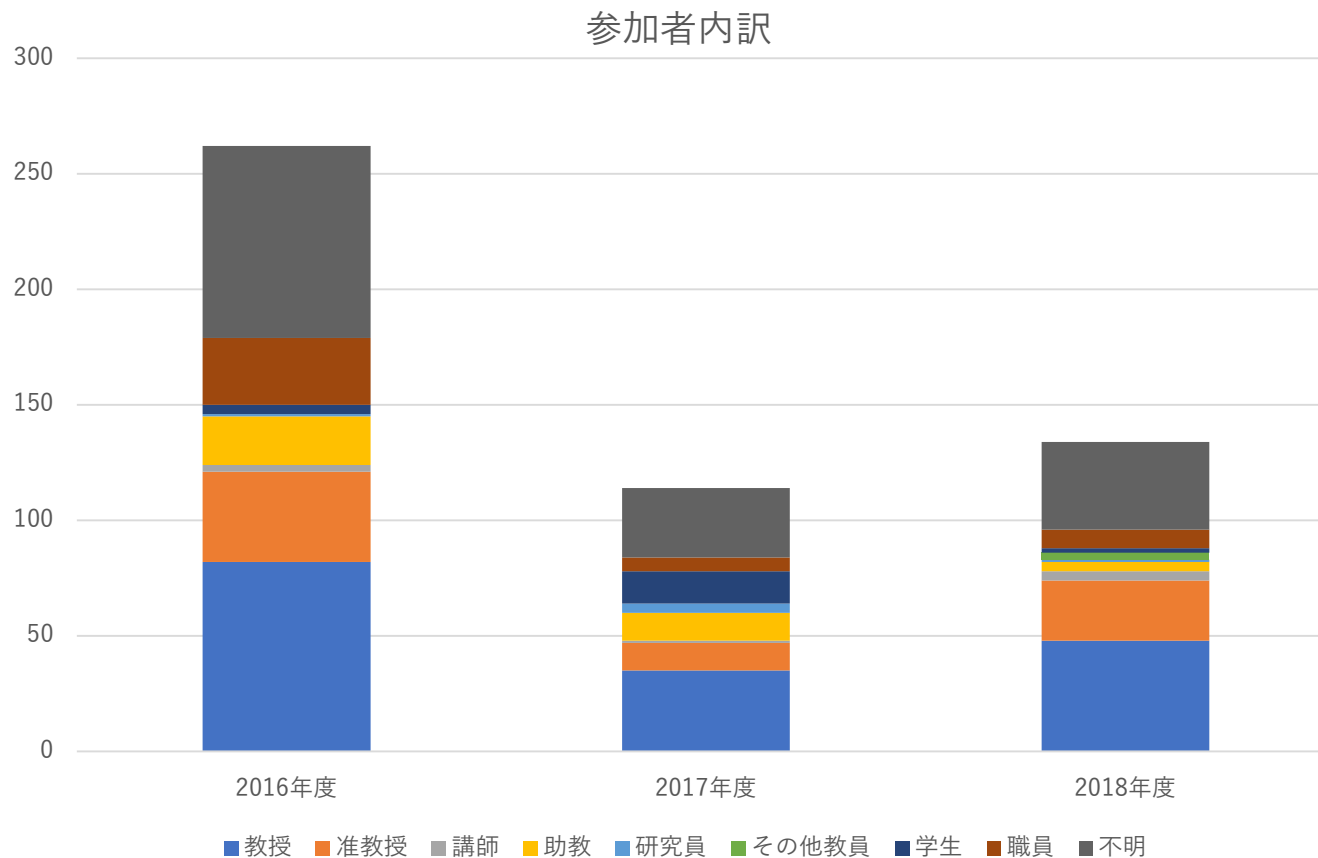
- リポジトリ登録システムで
登録申請。
- **登録が可能な版や公開可能時期**
などは附属図書館で調査の上、
論文を公開。

2-2. OA方針説明会の開催

- 2016年度～
- 実施回数：44回
11研究科, 10研究所, 4センター
新規採用教員研修会(年2回)
- 延べ参加者数：2,692名（うち、新採研修1,630名）
- 教授会, 教員会議等 10～15分
任意参加 30～60分
新規採用教員研修会 5分～10分
- 内容例：OAとは、京都大学OA方針、KURENAI登録の手順、質疑応答

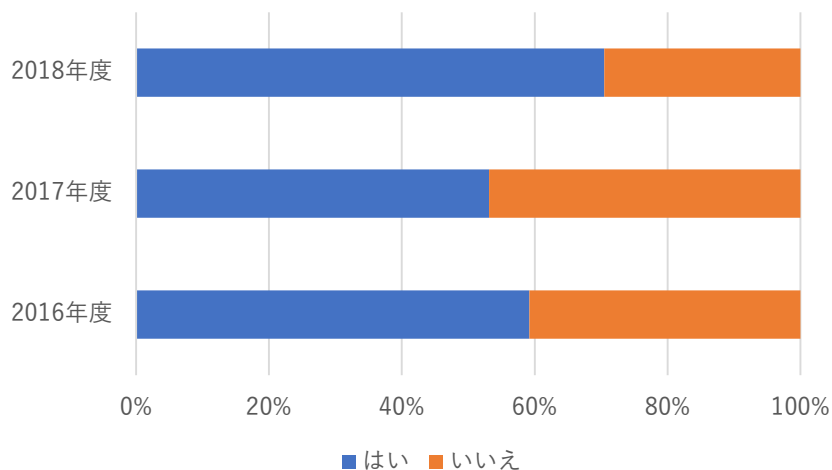
プレゼンスライド例：<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/13092>

2-2. OA方針説明会の開催

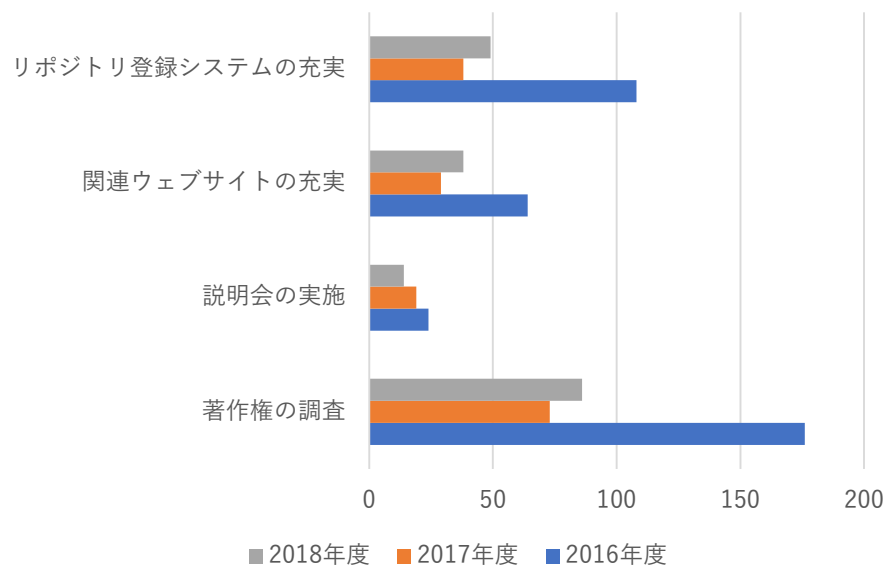


2-2. OA方針説明会の開催

オープンアクセス方針認知度



図書館に求める支援



自由記述

- 方針の理念がよくわかりました。
- 出版者の許諾条件を調べていただけるのでとても便利だと思います。
- 共著者全員の同意を得る労力は相当です…
- 著者最終稿を公開することには抵抗感が大きいです。

2-3. リポジトリ登録システム

- OA方針の対象となる論文をKURENAIに登録申請するためのシステム
- 2016年3月試行公開、2017年4月本運用開始
- 独自開発システム（業者委託）
- Scopus, researchmap から論文データを取得、教員ごとに表示
- 教員は学内教職員IDでログイン
⇒登録する論文を選んでファイル添付し、申請
- 代行申請可
- 雑誌ごとの著作権ポリシーを職員が事前登録、登録可能な版を表示



<https://www.kulib.kyoto-u.ac.jp/content0/1370229>

2-3. リポジトリ登録システム

リポジトリ登録システム(KURENAI Deposit System) 藤原 由華 代行(Manage data by proxy) 代理入力者登録・削除(Allow others to manage your data.) Logout ?

新規登録(new) [お願い/Notice] Internet Explorerで登録申請画面が動かなくなる場合があります。その場合はGoogle Chromeでの登録をお試しください。Please use Google Chrome if this system does not work. The recommended browser is Google Chrome.(2016/11/24)

未登録 - Unregistered

論文ID PaperID	DOI DOI	タイトル Title	ジャーナル名 Journal	出版社 Publisher	著者 Author	許諾条件(版) Copyright Policy (Version for Deposit)	
374815		テストデータ3	テストジャーナル3	テスト出版社	Taro Kyodai, Hanako Kyoto	出版社版(Published journal article)	申請開始(Apply)
374814		テストデータ2	テストジャーナル2	テスト出版社	京大 花子, 京大 太郎	著者稿(Accepted Author Manuscript)	申請開始(Apply)
178759		テストデータ1	テストジャーナル1	テスト出版社1	Kyodai, Taro / Kyoto Hanako	不明(Unknown)	申請開始(Apply)

共著者処理中 - In Process (Co-author)

論文ID PaperID	依頼教員 Author in charge	DOI DOI	タイトル Title	ジャーナル名 Journal	出版社 Publisher	著者 Author

図書館処理中 - In Process (Library)

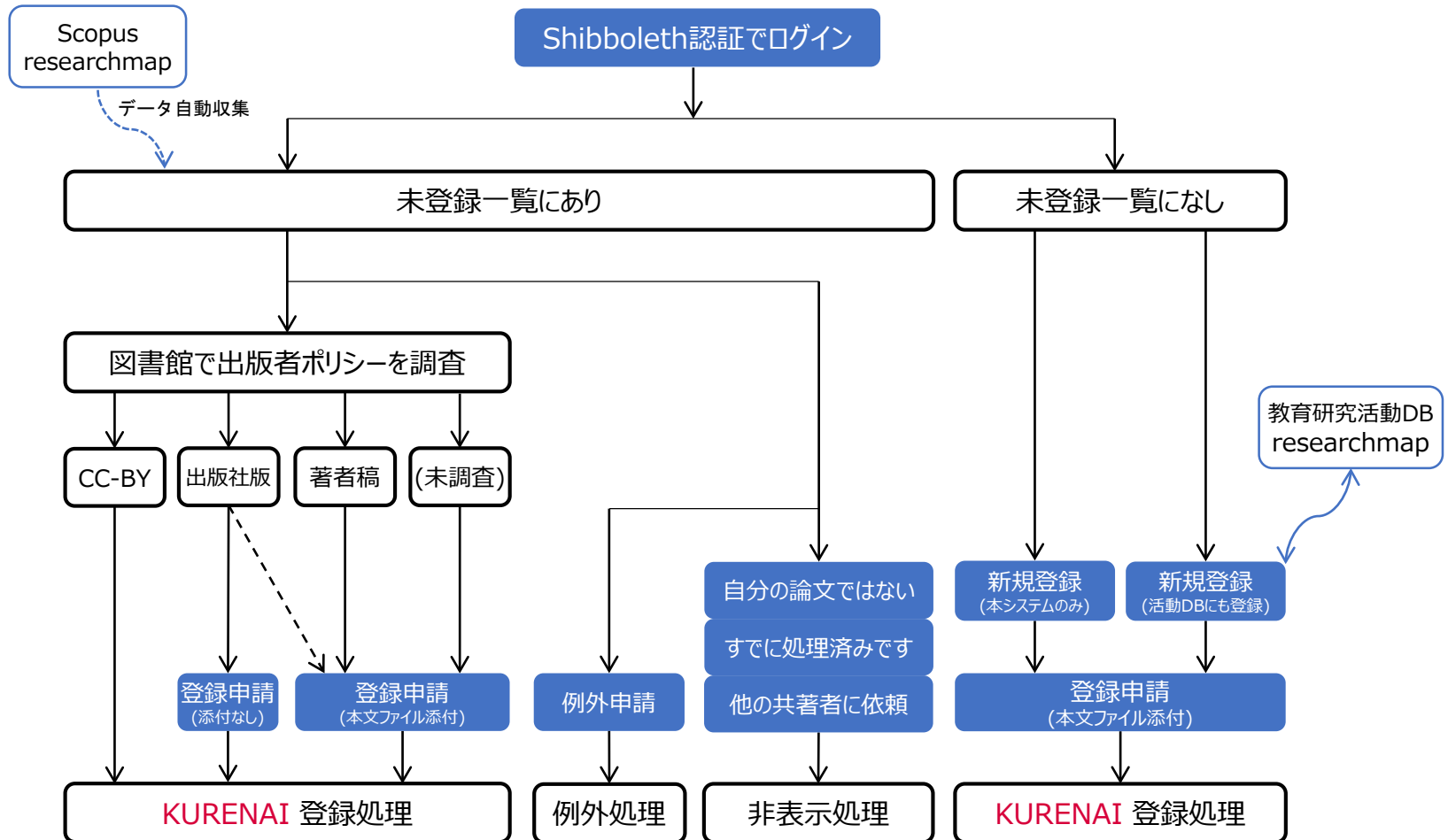
論文ID PaperID	DOI DOI	タイトル Title	ジャーナル名 Journal
359101		(テストデータ) Hemisphere jet mass distribution at finite Nc	Physics Letters, Sectionary Particle and High

完了済 - Finished

論文ID PaperID	処理段階 Processing stage	依頼教員 Author in charge	KURENAIハンドル URL	D D
182726	完了	藤原 由華	http://hdl.handle.net/2433/244384	11 ni

- ✓ 図書館の担当者は管理者用画面から著作権再チェック、ファイル確認、書誌事項修正、⇒KURENAI登録
- ✓ 連絡機能、メール依頼機能

2-3. リポジトリ登録システム



2-4. 教育研究活動データベースとの連携

- 2014年～
KURENAI ⇔ 教育研究活動DB

このアイテムのファイル:

ファイル	記述	サイズ	フォーマット
rspa.2017.0552.pdf		524.08 kB	Adobe PDF

タイトル: Power packet transferability via symbol propagation matrix

著者: Nawata, Shinya
Maki, Atsuto
Hikihara, Takashi
[京大 教育研究活動DB](#) [KEN 研究者検索](#) <https://orcid.org/0000-0002-0029-4358> (confirmed)

著者名の別形: 縄田, 信哉
牧, 淳人
引原, 隆士

京都大学 教育研究活動データベース

HOME >

引原 隆士 最終更新

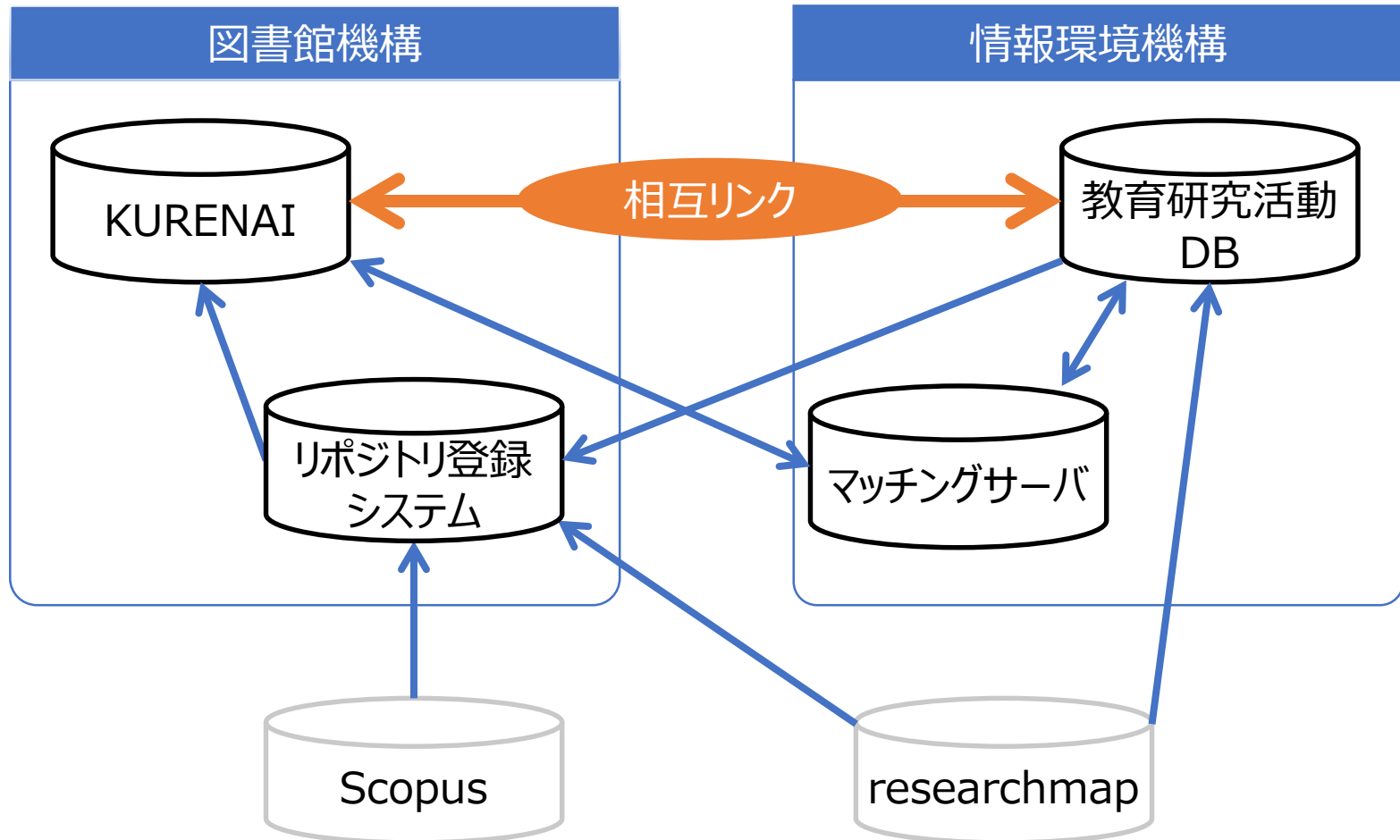
- 氏名(漢字/フリガナ/アルファベット表記)
引原 隆士/ヒキハラ タカシ/Hikihara, Takashi
- 所属部署・職名(部局/所屬/講座等/職名)
工学研究科/電気工学専攻先端電気システム論講座/教授
- 学部兼任
- 論文

著者	タイトル	書誌
Shinya Nawata, Atsuto Maki, Takashi Hikihara	Power packet transferability via symbol propagation matrix	PR SC PH SC

- 2016年～
教育研究活動DB
⇒ リポジトリ登録システム (教員情報)

リポジトリ登録システム
⇒ 教育研究活動DB (論文入力画面へのリンク)

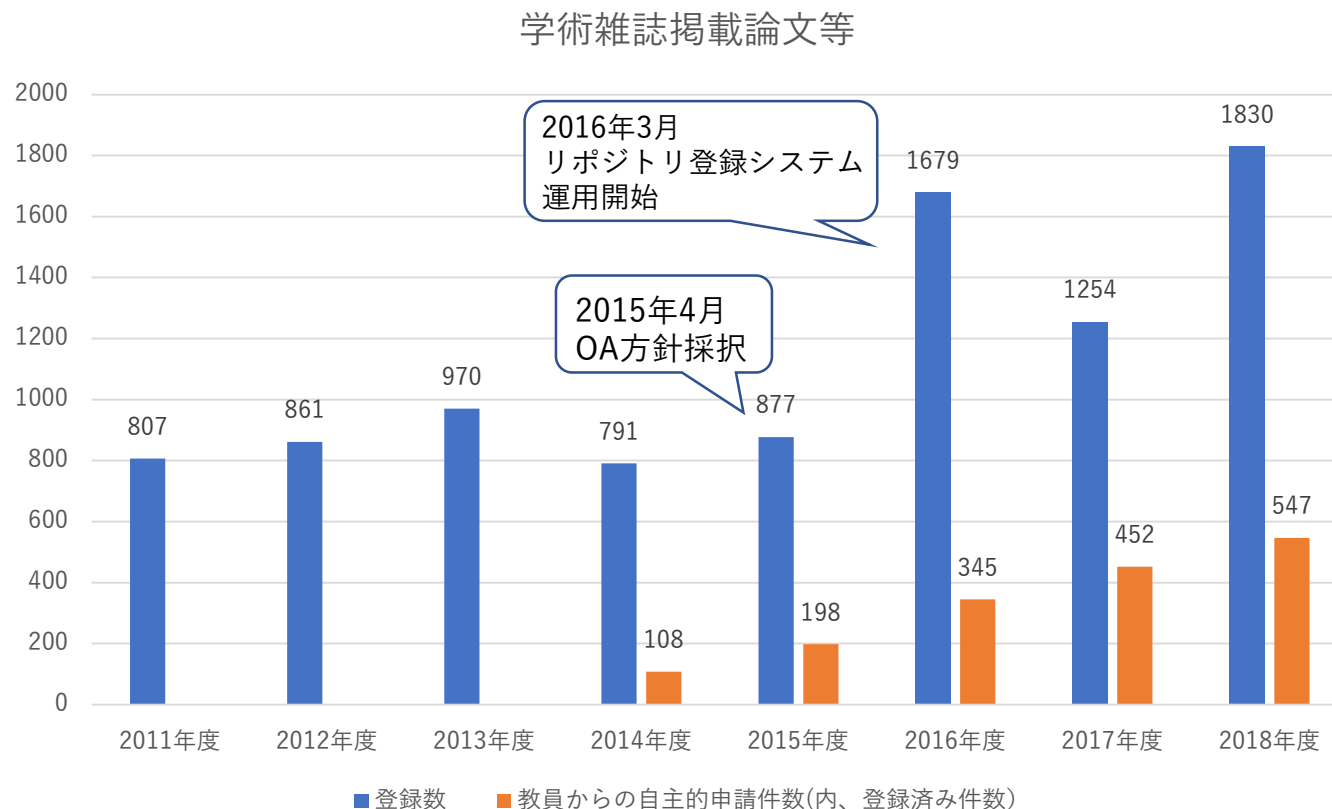
2-4. 教育研究活動データベースとの連携



2-5. 評価指標促進経費

- 京都大学独自の取組「評価指標促進経費」(2016年度～)
- 第3期中期目標期間において全学的に達成する必要がある指標(全体パッケージ)から23項目をピックアップ
⇒各部局がその中から毎年3つを選択
前年度からの増加数・伸び率によって予算を傾斜配分
- 「23. 京都大学学術情報リポジトリKURENAIへの論文登録件数」

2-6. 登録数・申請数の推移



※2015年度まではエクセル、2016年度からは登録システムでの集計。
※2016年度からは、CC-BY論文は申請なしで登録。

3. 課題 オープンアクセスの推進

- 共著者の合意
教員負担の緩和と著作権
- 削除希望への対応
運用ルールの明確化
DOI付与コンテンツ
- 業績評価への貢献

3. 課題 オープンデータへの展開

- 研究データ登録の推進

制度の整備

(運用指針の改定は済=エビデンスデータ登録可)

教員への周知

データリポジトリとしての運用

ストレージ, メタデータ, ライセンス……